

—地域経済に関する

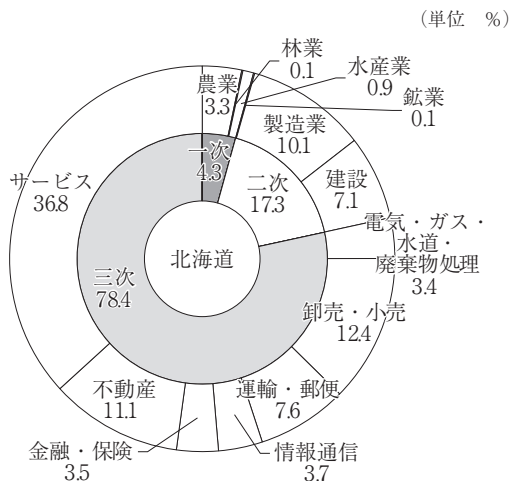
I. 北海道財務局

1. 北海道の経済構造

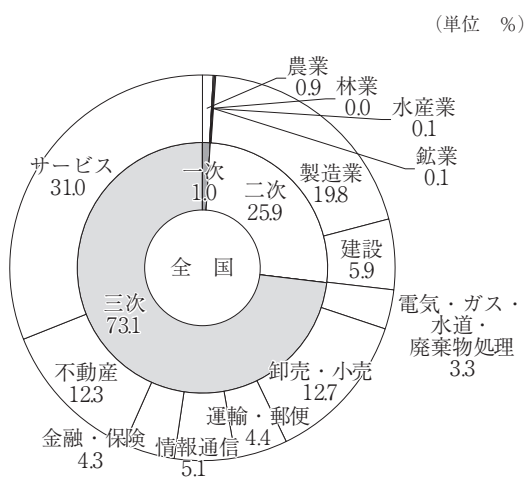
北海道の全国県民所得シェアは3.5%。経済構造は、第1次産業、第3次産業のウェイトが全国に比べると高いことが特徴。第1次産業は全国の生産額の14.1%を占めているほか、第3次産業では全国に比べてサービス業のウェイトが高くなっている。第2次産業は全国に比べるとウェイトが低く、特に製造業のウェイトが低くなっている。

製造業を産業別にみると、全国に比べて食料品など第1次産業に関連する製造業のウェイトが高く、電気機械、生産用機械、輸送用機械などの機械産業のウェイトが低くなっている。

(1) 経済構造（経済活動別総生産（名目））



資料：内閣府「平成30年度県民経済計算」



資料：内閣府「国民経済計算年報（令和2暦年）」

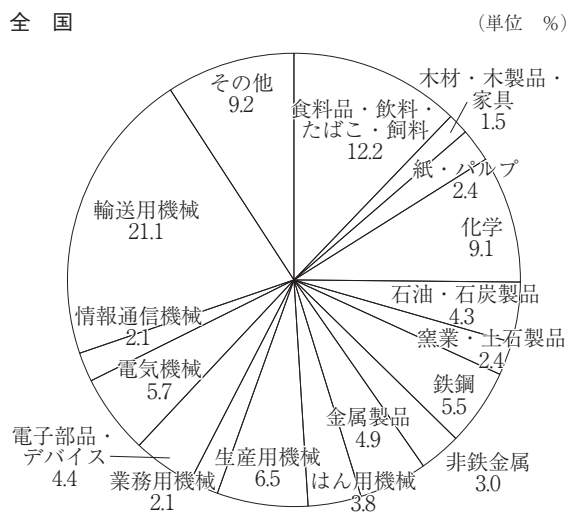
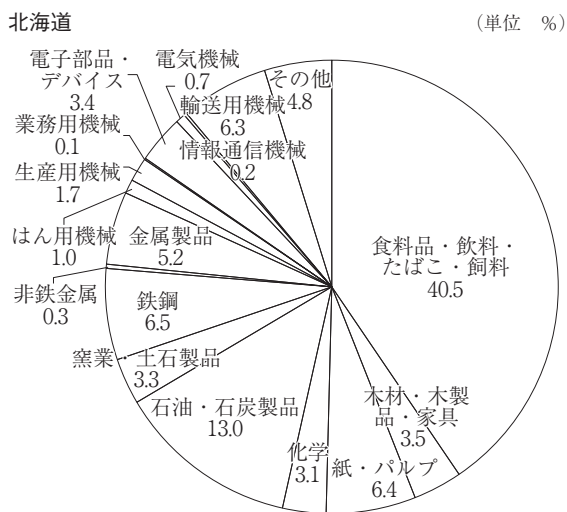
(2) 県民所得の各局別ウェイト

(単位 %)

北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	福岡	沖縄
3.5	5.9	44.0	2.3	12.4	15.0	5.2	2.5	3.5	4.9	0.8

資料：内閣府「平成30年度県民経済計算」

(3) 産業別構造（産業別製造品出荷額）



資料：経済産業省「2020年工業統計調査」

(注) 端数整理の関係で構成比の計があわない場合がある。

特色ある経済指標—

2. 管内の主要産業分布図

